

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年1月15日

【評価実施概要】

事業所番号	0570109611
法人名	有限会社 フラット
事業所名	グループホーム かぞく
所在地	秋田県秋田市新屋比内町26番1号 (電話) 018-888-9321
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成22年1月15日

【情報提供票より】 (平成21年12月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 7人, 非常勤 3人, 常勤換算	8.5人

(2) 建物概要

建物構造	木 造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	22,500~29,500 円	
敷 金	有 (円) ○無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) ○無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	310 円	昼食	400 円
	夕食	450 円	おやつ	40 円
	または1日当たり		1,200 円	

(4) 利用者の概要 (12月25日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名	
要介護1	1	要介護2	3			
要介護3	4	要介護4	1			
要介護5		要支援2				
年齢	平均	84.1 歳	最低	72 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	熊谷内科医院 くまがい日吉歯科医院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

新興住宅街の中心部に位置し、近隣には大手スーパーや各種の施設、公園等の環境豊かな場所に建てられた1ユニットのホームです。ホーム内は、感染症対策に万全を期し、清掃や床暖房による温度管理、加湿器を用いた湿度管理等によって健康で快適に暮らせるように配慮されています。さらに午前・午後の2回行われる水戸黄門のテーマソングに合わせた健康体操は馴染みながら実施されております。管理者は、ホーム運営に当たりしっかりとポリシーを持たれ、職員と共に利用者ケアに活かした取り組みをされています。日常的なケアの中で、気づいたことや利用者から得た情報は、パソコンに入力され、職員だれもが確認できるように情報の共有が行われております。利用者は、団らんと語らいのある生活を送ることができ、生き活きとした表情で穏やかな笑顔が観られるホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、近隣住民や周辺施設等の理解・協力への働きかけが新興住宅街ということで難しい面ありましたが、今回は、便りによる住民への働きかけによって、ホーム行事への参加や散歩時の気軽な声掛け、子供のホームへの立ち寄り等があり、改善されておりました。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者が日頃の状況を観ながら記載され、記載したものを職員に提示しております。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、2か月に1回定期的に行われていたが、事情により今年度は4回の実施でした。内容については、運営推進会議メンバーに事前に資料提供が行われ、会議時間の効率化を図る等の工夫が見られます。また、その時々話題をテーマに話合われ、情報提供や意見交換が行われております。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	面会時や電話等によって、意見や要望を引き出す働きが行われている他、便りや契約時の説明、掲示によって意見や要望をいただき、運営に反映させた対応が行われております。また、家族への説明も行われ、記録も取られています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日常的に挨拶や言葉かけ、お庭拝見、ホーム前でのお茶会、ホーム内で行われる子供チアリーダー披露会への招待等の交流がある他、避難訓練には近隣職員や住民が駆けつけてくださる等の交流があり、地域の一員としての根ざした取り組みが行われております。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	在宅での生活がそのまま継続できるように団らんと語らいのある生活、そしていつまでも家族であり続けるために地域に密着した小規模で細部にまで行き届いたサービス提供が行えるよう取り組まれております。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内の目に触れるところに掲示をされており、日常的な関わりの中やケアカンファレンス・職員会議等で確認が行われ、実践されています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近所の方々との日常の挨拶や外でのお茶会、子供たちの立ち寄りの他、地域の子供によりチャリダー披露会がホームで2回/年継続して行われており、家族や近隣65軒の方々にイベント案内を出され、一緒に楽しめる等の交流が行われています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の意義を理解され、評価を活かし、サービスの向上に積極的に取り組んでいます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用状況や活動状況が予め確認できるように資料の提示が行われ、会議時間の効率化を図られる等の工夫が見られ、その時々状況に応じた議題で参加者からの意見をいただき、サービスの向上に努めています。	○	今年度は、事情により4回より開催ができずにおりましたが、今後、少なくとも2カ月に1回は開催できるように工夫されることを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	気軽に連絡を取り合い、依頼や相談等、情報交換が行われております。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月の便りでは写真入りでホームの生活状況が一見して確認できるように配慮され、食事の摂取状況や日々のバイタル、受診時の報告等健康面についても細部に行き届いた報告が行われています。また、出納状況についても請求書送付時に一緒に報告が行われています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や電話での状況報告時、意見・要望の引き出しが行われています。また、便りやケアプラン作成時に意見や要望を引き出す働きかけが行われ、運営に反映されています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新規採用職員については、ベテラン職員がフォローしながら6か月間OJT研修を行い、同勤務とする等利用者が混乱することなく、馴染めるように関係作りが行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員育成のためにOJT研修が行われ、外部研修参加者は、数回にわたり研修報告を行う等、報告方法にも工夫が見られます。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>秋田市グループホーム連絡協議会に参加され交流の機会を持ち、サービスの質の向上に繋がっています。また、他施設への見学や施設体験も行われています。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人や家族が安心してサービスを利用できるように、入居前に見学されることを働きかけ、違和感なく入れるように取り組まれています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>アセスメントによって得た情報により生活歴やこれまでの生き方を理解され、利用者本位の生活支援ができるように、共に学び、支えあう関係づくりが行われています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常会話の中で一人ひとりの思いや意向が引き出せるように話し合いの中から、把握に努められています。また、家族等からは、面会時や電話等で意向を引き出されております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	思いや意向の把握に努め、本人がより良く暮らすための課題やケアの在り方について、得た情報が日々の記録に入力され、反映されたケアプランが作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月を基準にケアプランが立案され、見直しが行われています。また、状態変化時には随時のプラン見直しが行われております。	○	3か月毎にプランは更新されていますが、根拠となる評価・モニタリング記録を作成されることを期待します。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通常の生活の範囲で柔軟な対応が行われております。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携が取られ、2週間ごとに訪問診療が行われています。また、家族の協力を得ながら希望の受診も行われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者・家族等へは、重度化した場合や終末期の在り方について、ホームの体制から限界があることを説明され、納得のいく対応が行われています。また、職員も全員で方針を共有しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけや対応、記録等、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、尊厳を持って接しております。また、個人情報に関する話は利用者の前では話さない等の対応が行われております。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の日々の過ごし方を把握され、利用者一人ひとりのペースを尊重され、その人らしい希望に沿った支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえや盛り付け・配膳・下膳、片づけ等の役割やお手伝いをいただき、利用者の力が発揮でき、楽しんで食事が出来るように支援されております。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低でも週に2回は入浴できるように配慮され、さらに希望時間帯に入浴できるように柔軟な対応が行われております。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や残存機能・能力を活かし、できること・できそうなことを見つけ出し、役割を持っていただくことで楽しみながら、自発的に関わりが持てるように支援されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日光浴や散歩・散策、買い物、お花見、アトリエももさだ等の各種施設見学、ドライブ等天候や状況を見ながら、外出支援が行われております。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解されており、センサーによって利用者の行動を把握され、全く鍵はかけられておりません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練が消防署員立会いの下実施されている他、不定期に全職員が夜間想定で経験できるように独自に取り組まれております。近隣職員や近所の方の駆け付けもあります。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスのとれた献立作成と利用者の状況に合った食事の提供が行われ、食事摂取状況や水分量に配慮された支援が行われております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が居心地良く過ごせるように、床暖房が取り入れられ、各種のソファや椅子、畳スペースの配置、車いすでも対応可能な洗面・トイレの設置等、随所に工夫が観られます。また、さりげない飾り付けで、家庭的な雰囲気を醸し出してしております。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた小物やテレビ、家族の写真等が持ち込まれ、意向に沿った生活スペースを作り出しています。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。